

自作教具の活用事例

【作品名】 スクラッチアート	【学校名】 日立市立滑川中学校
【活用できる領域・教科等】 自立活動 (心理的な安定を図る活動 作業に必要な動作を身に付ける活動)	【制作者名】 戸邊 政光
【制作の意図】 心理的な安定を求める生徒が、細かな動作に集中して取り組むことで、心理的な安定を図ると共に、「なぞる」「削る」など描く作業に必要な動作を身に付けることができる。また、削る作業が発掘の喜びにも繋がる。	【使用の方法】 各個人で作業に取り組む。題材や道具は複数用意して、各自が使いやすい物を選択して使用できるようにする。各自の机以外にも、作業できる広いスペースを活用してもよい。
【制作上の工夫】 題材を複数準備して、生徒に選択の場を与えることで、自己決定の場を作ることができる。 また、複数の題材を扱うことで、互いの出来映えをあまり比較することなく作業に取り組むことができる。	【見取り図】 ○A 4 サイズ ○題材 (今回は風景画)
【写真】 	先端の太さの異なるペン (5本)
【材料・材質・部品等】 Scratch Colorful city series (市販品)	【使用効果と応用発展】 個別の授業の中で活用できる。 細部まで描写された題材を活用することで、手先の細かな動作に集中して取り組むことができる。 発展的な活用として、題材の描かれていない用紙を利用することで、環境の把握やコミュニケーションなど、様々な自立活動の目標達成を狙うことが考えられる。